

第5回 災害時看護師等ボランティア研修会

平成30年10月17日(水)
9時30分～11時30分
丸亀市消防本部 6階会議室

今回の研修会は、丸亀市における災害時医療救護体制（応急救護活動の状況など）についての説明と、丸亀市消防本部 防災課の職員3名による、人工呼吸、心肺蘇生術、AEDの取り扱い等応急手当について講義及び実習を行いました。37名の方に参加いただきました。



しっかり気道確保できていれば
普通の呼吸の吐く息の強さで胸は膨らみ、
空気が入る。



心肺蘇生はしっかり胸骨を圧迫（押ししずめ）しないと、心臓に刺激がいかないので、前傾姿勢で体重をしっかりとかける。



全自動のAEDは、アナウンス通りに使用する。電気ショック用のパットの位置の確認と、周りの人が傷病者に触れていないことを十分確認し、電気ショックボタンを「押します！」と伝えてから押す。



三角巾の使用法の復習。
本結びとたて結びの違いや、アキレス腱の固定の仕方。

<参加者の感想>

- 人工呼吸、心肺蘇生、AEDの使用方法等実習でき、よくわかりよかった
- AEDの研修を何度か受けていたが、忘れていたり、変わっていることもあり勉強になった
- 人形を使用しての実習で、心臓マッサージ、人工呼吸がうまくできているかの確認ができよかった
- 年に1回はこのような実習があれば、再確認ができ、よいと思う（三角巾の使用も含め）
- 技術の積み重ねが大事だと感じた
- 予期せぬ事態にも対応ができるよう、復習しておきたい

参加者の方、皆さん良かったというご意見でした。